

助成金早わかりシート

AI研修に使える助成金 ― 人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）

Makelew株式会社

生成AI研修は、自社のDX推進・事業展開・人材育成計画のいずれかと結びつけて実施することで、この助成金の対象になり得ます。要件・助成率・申請スケジュールを1枚に整理しました。

75% 中小企業の経費助成率	1,000円 賃金助成（1人・1時間あたり）	10時間以上 対象は実訓練10時間以上のOFF-JT
--------------------------	----------------------------------	--------------------------------------

1 制度の概要

人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）は、従業員の研修費用の一部を国が助成する制度です。本コースは令和4年度～令和8年度（2027年3月31日まで）の期間限定の措置です。制度は年度途中でも改正されており、直近では助成額の引き上げや対象範囲の拡大が行われています。

2 対象になる訓練・対象者

- 対象労働者は雇用保険の被保険者に限られます。原則として役員（雇用保険の被保険者でない方）は対象になりません。
- 対象訓練は、OFF-JT（職場を離れて行う研修）として実施され、実訓練時間が10時間以上であること。
- 次のいずれかに該当する訓練であること。

 1. 事業展開に伴う訓練	 2. DX・GX化に伴う訓練	 3. 企業内の人事・人材育成に関する計画に基づく訓練
---	---	---

必須条件：OFF-JT・実訓練10時間以上

単に操作方法を説明するだけの初歩的な研修や、AIツールの利用料そのものは対象になりません。カリキュラムが自社の課題・目的と結びついている必要があります。

3 助成率・助成額

項目	中小企業	中小企業以外
経費助成率	75%	60%
賃金助成（対象労働者1人・1時間あたり）	1,000円	500円
経費助成の上限額（1人・1訓練あたり／実訓練10時間以上100時間未満の場合）	30万円	20万円

- 経費助成の上限額は、訓練時間が長くなるほど上がります。
- 設備投資加算（中小企業のみ）：訓練で使用した機器等を新たに導入した場合、導入費用の50%（対象労働者1人につき15万円、10人以上は一律150万円が上限）が別枠で追加助成されます。導入する機器の種類や賃金要件など、別途の条件があります。
- 賃金助成の単価は2026年5月時点の額です。

4 申請のスケジュール

- 訓練実施計画届は、訓練開始日の6か月前から1か月前までの間に提出する必要があります。早すぎる提出も、1か月を切った提出も受理されません。
- 助成金は後払いです。研修費用は一旦立て替えたうえで、訓練終了後に支給申請を行い、審査を経て入金されます。
- 計画届を提出したことが、支給の確約を意味するわけではありません。



※ 1か月前を過ぎた提出・遡及申請はいずれも不可

5 対象外になるケース

- 役員（雇用保険の被保険者でない方）の受講分
- AIツールの利用料そのもの（研修費用とは別に発生する費用）
- 操作方法の説明にとどまる、初歩的な内容だけの研修

「AI研修とAIツール導入をセットにすれば、ツール導入費用も助成対象になる」といった説明は誤りです。研修費用と、ツールの導入・利用にかかる費用は明確に分けて考える必要があります。

6 Makelewができること

Makelewは、助成対象の要件に沿った**カリキュラム設計**と、**研修そのものの実施**をお手伝いします。申請手続き自体は、顧問の社会保険労務士等の専門家と連携して進めることをおすすめしています。

助成金を使った研修の設計について、まずは無料ヒアリング（60分）でご相談ください。御社のDX推進・人材育成計画に沿った形で、対象要件を満たすカリキュラムをご提案します。

GET STARTED

助成金を使った研修設計を相談する

お問い合わせ・無料ヒアリング（60分）のお申し込み：makelew.com/contact

makelew.com/contact

※制度は改定されることがあります。最新の要件は厚生労働省の一次情報、または社会保険労務士にご確認ください。

本シートの内容は、厚生労働省公式サイト掲載の詳細版パンフレット（令和8年5月14日版）にもとづいて整理したものであり、助成の可否・金額を保証するものではありません。